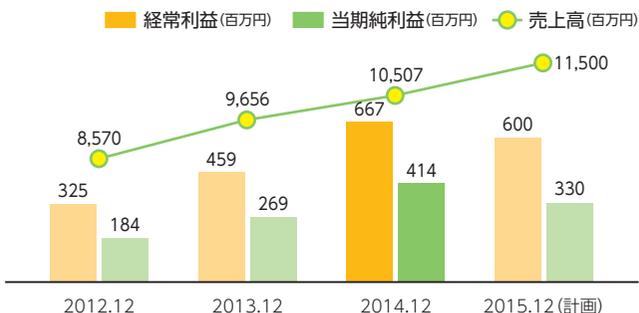


## 財務データ

### 収益



### 当期連結収益面のPOINT

金融向けSI開発案件の大幅増収、及びグループ子会社においては自動車メーカー向け組込系コンサル業務、計測系開発案件の増収により売上高は**前期比8.8%↑**の**10,507百万円**となり  
当期純利益は**同53.5%↑**の**414百万円**となりました。

### 財務



### 当期連結財務状態のPOINT

当期末総資産は、業績拡大に伴い売掛金等の流動資産が**163百万円↑**  
固定資産においてはソフトウェア、投資有価証券の増加により**325百万円↑**となり  
結果として前期末比**6.7%↑**の**7,751百万円**、  
当期末純資産は**同8.2%↑**の**3,048百万円**となりました。

(単位：千円)

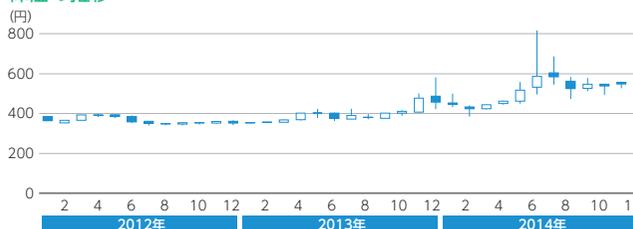
キャッシュ・フロー計算書(要旨)	2012.12	2013.12	2014.12
営業活動によるキャッシュ・フロー	459,938	229,404	515,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 371,052	△ 120,947	△ 484,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	168,095	△ 61,020	19,278
現金及び現金同等物の期末残高	1,951,645	2,015,930	2,069,889

## 株主メモ

決算期 12月31日  
 定時株主総会 3月下旬  
 基準日 毎年 12月31日  
 配当金受領株主確定日 6月30日および12月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

1単元の株式の数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 (兼 特別口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 郵便物ご送付 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話お問合わせ先 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告により、ホームページ  
 (http://www.solxyz.co.jp)に掲載します。

### 株価の推移



### 株主優待

次の基準により国内産コシヒカリを贈呈しています

200株以上の株主様	2kg
1,000株以上の株主様	5kg
10,000株以上の株主様	10kg

(2014年12月末基準の200株以上の株主様に対する実績)



## 会社情報

(2014年12月31日現在)

社名 株式会社ソルクシーズ(JASDAQ 証券コード:4284)  
 設立 昭和56年2月4日  
 資本金 14億9,450万円  
 事業内容 SI/受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)及び関連機器の販売等  
 所在地 本社  
 〒108-0014 東京都港区芝五丁目33番7号  
 TEL. 03-6722-5011(代表) FAX. 03-6722-5021  
 福岡営業所  
 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町四丁目2番  
 TEL. 092-283-8411 FAX. 092-283-8412  
 従業員数 468名(グループ計663名)  
 システムエンジニア422名、営業スタッフ21名、その他25名  
 URL http://www.solxyz.co.jp  
 子会社 株式会社エフ・エフ・ソル、株式会社イー・アイ・ソル、株式会社インフィニットコンサルティング、株式会社ノイマン、株式会社teco、株式会社エクスモーション、株式会社コアネクスト、株式会社アスウェア、株式会社インターディメンションズ、索路克(杭州)信息科技有限公司

# 第35期 ソルクシーズ株主通信

2014年1月1日～2014年12月31日

私たちはお客様の夢を実現する  
ソリューション・カンパニーを目指しています。  
お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力。

Change, Challenge & Speed



証券コード:4284



## 株主の皆様へ

# 2015年「青葉繁る年に」

蒔いた種が芽吹き、青々とした葉が繁る年にします



代表取締役社長 長尾 章

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年当社グループは、基本的な景気回復基調を受け積極的なIT投資に転じた国内IT市場を背景に、主力ビジネスであるSI/受託開発が堅調に伸長し、金融業界を中心とした開発案件を受託するべく、国内開発体制のみならず、海外開発拠点を設けるなど開発リソース確保に努めました。また、ストック型ビジネスにおいても、クラウドサービス「Cloud Shared Office」について特徴ある技術・製品を有する他社との連携などによる機能強化を図り、顧客基盤の拡充に努めました。また、センサーによる見守りサービス「いまイルモ」においても、経済産業省の補助事業採択を機に通信機能の拡充など更なる機能向上を図りました。以上の取り組みに加え、株式会社エクスモーションにおけるモデル化支援、機能安全化支援などが大手自動車メーカーなどから高い評価を受けたほか、組込み・計測系開発を行う株式会社イー・アイ・ソルにおいて可視化ソリューションを応用した新しい商品・サービスの開発・準備が進展し、2014年12月期の業績は増収増益となりました。

2015年12月期のSI/受託開発は、金融向けを中心に当分の間、高い水準で推移するものと見ております。ストック型ビジネスにおいては、引き続き拡充し事業基盤の強化と安定化を狙ったもう一つの収益の柱となるよう更に推進してまいります。また、SIビジネスの競争力とストック型ビジネス両方の強化を目的とした中国・ASEAN諸国の開拓は、これまで以上にスピード感を持って鋭意取り組んでいく方針です。

2015年のキーワードは「青葉繁る年に」と決めました。これは、今まで蒔いた種が芽吹き、青々とした葉が繁る年にしたいという想いを意味しております。

株主の皆様には尚一層のご支援をいただきたく、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 事業ハイライト

### 経営指標の達成状況

SIビジネスとストック型ビジネスの利益割合を50：50とすることを目標としています。

現在まではSIビジネスの割合が大半を占める状況にあり、引き続きストック型ビジネスの拡大を図ってまいります。

### ソルクシーズグループの事業戦略と進捗状況

#### 経営基盤の強化

優秀な人材確保と国内外の人材確保を目的として体制を強化

- 優良な人材確保と役員・従業員のインセンティブ策として、有償ストックオプションを発行
- 海外進出拡大と人材不足の解消を目的としてCYOLAB社とラボ契約締結

#### 海外市場の開拓

中国・ASEAN市場の開拓を推進

- 中国市場開拓の拠点として設立した「索路克（杭州）信息科技有限公司」にて、大手病院に対し電子棚札を納入
- CYOLAB社とのラボ契約締結により、フィリピンに開発拠点を確保

#### SIビジネスの競争力強化

特定分野への専門特化と非価格競争力の強化

- 上記CYOLAB社との提携により、コスト競争力の強化を推進
- グループ各社の既存ソリューションの拡充、新たなサービスを開発

#### ストック型ビジネスの強化・拡大

既存サービスの強化・拡充を図り、新サービスの提供を開始

- クラウドサービス「Cloud Shared Office」において特徴ある技術・製品を有する他社と連携を行い、機能強化を実施
- 見守りサービス「いまイルモ」が経済産業省の補助事業に採択され、更なる機能向上を実施

## TOPICS

### CYOLAB PTE.LTD.とラボ契約締結



予め優秀な人材をソルクシーズグループ専用に確保し、柔軟な開発案件の依頼や、仕様及びノウハウの蓄積によるスピーディーな対応が可能となる事を目的として、2014年5月にCYOLAB PTE.LTD.とラボ契約を締結しました。

CYOLAB社は、フィリピンにソフトウェア開発拠点をもち日本からのオフショア開発及び自社ソリューションの開発を行うほか、ASEAN諸国におけるグローバルビジネスへの取り組みも行っています。当社としてはオフショア開発のみならず、国内向けソリューションの海外展開を図るべく、ASEAN向けの拠点作りのパートナーとして幅広く連携して行く予定です。

### センサーによる見守りシステム「いまイルモ」が経済産業省の補助事業に採択



経済産業省が推進する平成26年度「ロボット介護機器開発・導入促進事業（開発補助事業）」に補助事業として採択されました。この事業はロボット介護機器の開発・製品化の意思を持つ企業に開発補助を実施するもので、「ロボット技術の介護利用における重点分野」として具体的に暗所や浴室での利用など8つの項目が挙げられていますが、当社はその全ての項目を満たすよう、開発・実証実験を行っています。今後もこのような開発を通して、見守る方・見守られる方、双方に喜ばれる製品・サービスを目指して研究開発を進めていきます。

### 株式会社イー・アイ・ソルが米国ナショナルインスツルメンツ社 ゴールドアライアンスパートナーの認定取得



2014年8月1日付にて米国ナショナルインスツルメンツ社（以下NI社）のアライアンスパートナーとして、ゴールドアライアンスパートナーに認定されました。NI社のグラフィカルシステム開発を利用して完成ソリューションや高品質製品をユーザに提供する企業が世界中に830社以上存在しておりますが、全世界におけるプラチナ及びゴールドアライアンスパートナーは約60社しか存在せず、日本におけるゴールド取得企業は2社目です。世界40カ国で認知されている上級認証を取得したことにより、今後はNI社営業部との共同による販売活動の更なる推進とグローバル展開が大いに期待できます。